

四国電友会会報

第 1 1 7 号

昭和 14 年 1 月



目次

年頭のご挨拶 (電友会四国地方本部長)	2
年頭にあって (NTT西日本愛媛支店長)	3
NTTグループの動き	4
NTT東・西の「構造改革」まとめ	4
NTT西日本の平成十三年度中間決算	4
「加入電話・ライト(仮称)」の提供	5
「マイライン」第二段階へ	5
お知らせ	6
第二十六回理事会	6
第十一回電友会ボランティア活動賞受賞者表彰式	6
第十五回事務局長会議	7
第二回四国地方本部長理事会開催	7
電信電話記念日の表彰	7
支部日より「第二回親睦囲碁大会開催」(愛媛)	7
「親睦小旅行で京近江の秋を堪能」(愛媛)	7
「秋の観光バスツアー実施」(高知)	8
四月一日に迫った「ペイオフ」解禁	8
厚生年金保険・平成十四年四月改正のポイント	9
健康のページ(二〇〇二年 年頭雑感)	9
人生さまざま 後半生を生きる	10
私は今	11
テルウェルだより	16
終身共済、進学・結婚共済	16
ご加入者の皆様へお願い	16
「愛松園ふれあい運動会」を開催	17
サークル紹介(吟詠サークルたまも)	17
M・M(マルチメディア)コーナー	18
投稿・ある一日	18
俳句(愛媛)	19
敬弔	19
表紙の言葉	19
編集後記	19

年頭のご挨拶

電友会四国地方本部長

芳野 運



電友会の皆様新年あけましておめでとうございます。新しい年が、皆様にとって健康で、心豊かなものでありますよう、心からお祈りいたします。

会員の皆様には、常日頃、会活動につき何かと協力いただき、誠にありがとうございます。

お蔭様で、四国地方の会員数は四千六百名を超え、会の活動も、年次活動方針にもとづき、各県支部が中心となつて着実に推進されているところであります。

このように電友会の活動が順調でありますことは、会員の連帯感と積極的な協力によるものであります。同時に、私たちの出身母体であるNTTをはじめ、NTTグループ関係会社の物心両面にわたるご支援の賜物であり、新年を迎えるにあたり、あらためて深く感謝申し上げます。

さて、二十一世紀幕開けの昨年は、長引く不況に追い討ちを掛けた、アメリカの同時多発テロ、アフガン戦争、戦後最高の失業率と企業倒産、狂牛病問題など、衝撃的で暗いニュースが多かった年でありました。

こうした中、NTTおよびNTTグループでは、政府が提唱する「IT革命」推進企業として、電話事業からIP事業へ事業ドメインを転換され、改善諸施策が矢継ぎ早に展開されてきたところであります。

NTT西日本におかれても、会社設立以来の二大目標である「情報流通企業への脱皮」と「黒字構造への転換」に向けた諸施策に積極的に取り組まれましたが、市場構造と競争環境の急激な変化により、NTTの財務基盤は一層厳格化しております。

この厳しい現実に対応し、NTT東・西の財務基盤を建て直し、経営の自立化を図るため、NTTグループは、本年五月、抜本的構造改革を実施し、「平成十四年度には赤字構造からの脱却をはかる」としています。

この改革は、社員の退職・再雇用・給与の引下げ等を伴うもので、改革の痛みを乗り越え、新しい時代を拓かれる現役のご労苦に敬意を表するとともに、OBとして、お役に立てることは、最大限の協力をして行きたいと考えております。

めまぐるしく進展するNTTの事業展開の中にあって、NTTの発展に寄与する電友会として、平成十三年は、次の事項について重点的に取り組んできたところであります。

① 電話会社選択サービスの開始に伴う「マラインプラス」の獲得については、その成果如何がNTTの命運にかかわる重大問題であると考え、電友会の総力をあげて取り組み、一定の成果を収めることができました。

会員皆様のご理解・ご協力を改めてお礼申し上げます。

② マルメディアの普及については、そのことへの参加が、会員自身の生き甲斐づくりに副うものとして、パソコン教室等の拡大実施・インターネット愛好者の組織化とその拡大に取り組んで参りました。

各県支部のご協力により、全支部に愛好会が結成され、愛好会のメンバーによるパソコン指導や、IT相談が活発に行われるようになり、インターネット人口の増加に一役買っているところであり、関係会員の熱意とご努力にお礼申し上げる次第であります。

③ ボランティア活動については、会員の生き甲斐増進と電友会の活性化につながり、NTTの社会貢献活動の側面的支援にも副うもので、年々その輪が拡大していることに敬意を表したいと存じます。

昨年十一月、中央で、第十一回ボランティア活動賞の表彰式があり、四国電友会から二人、一団体が表彰されました。心からお祝い申し上げますとともに、これからもお元気で活動を続けていただきたいと思います。

電友会は、NTTおよびNTTグループとの支援・協力関係を進めるとともに、会員相互の親交を深め、会員の生き甲斐づくりを応援することを基本理念としております。

新年を迎えるにあたり、会員の皆様とともに、この基本理念に思いを新たにし、電友会が新生NTTグループとともに頑張っていくたいと考えております。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝、ご多幸と、病氣療養中の方々の早期ご快復をお祈りし、新年のご挨拶とします。

年頭にあって

NTT西日本愛媛支店長

伊藤 卓志



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素よりNTT事業に対し深いご理解を頂くとともに、各種施策実施に対するご協力を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。

特に、昨年は「電話会社選択サービス」のマイラインプラスの獲得活動におきまして、電友会様の総力を挙げた取り組みにより多大な成果を上げて頂きましたことにつきまして、改めてお礼を申し上げます。

昨年は、一月に政府にIT戦略本部が設置され、五年以内に世界最先端のIT国家の実現を目標とする「e-Japan戦略」が策定され、重点的かつ戦略的にIT施策を実施していくことになりました。

こうした中で、私どもNTTグループ各社もこれに貢献すべく、新たな情報通信サービスの提供や自治体などへの情報通信システムのご提案・構築などに取り組んでまいりまし

た。

なかでも、新たな情報通信サービスの提供につきまして、電話からインターネットに事業ドメインを転換すべく、定額料金制のインターネットアクセスサービスである、フレッツ・ISDN、フレッツ・ADSLのサービスを開始し、四国地域においても昨年末で世帯カバー率が八割を越えるまでに提供エリアを拡大するとともに、お客様にご利用頂きやすい料金とするため一年で四回もの値下げを実施してまいりました。

電話料金につきましても、電話会社選択サービスが開始された五月一日から市内通話料金を三分十円から、八・五円に電電公社発足以来初めての値下げを実施いたしました。

さて、NTT西日本も発足して本年度四年目となりますが、「ブロードバンド」という言葉が昨年の流行語大賞のひとつになるなど、インターネットアクセスの高速化、ブロードバンド化が急速に進展してきています。

そこで、本年は四国地域におきましても、県庁所在地都市においてお客様のニーズに応じて、光ファイバを利用し新聞一カ月の情報量を一秒間で送ることが出来るBフレッツという、ブロードバンドサービスの提供を開始する予定です。

このように、会社設立当初の二大目標のひとつである「情報流通企業への変革」は着実に進みつつあるものの、もうひとつの「黒字構造への転換」については、発足直後の事業者間接続料金の値下げを契機とした、電話料金の競争対抗値下げやインターネットアクセ

スサービスの度重なる値下げなどにより、極めて厳しい経営環境となつてまいりました。そこで、本年五月にはNTT西日本の自立と再生を期して、事業構造の抜本的な改革を実施する予定であります。これは、松山市に本社を置き四国地域を業務範囲とする営業系設備系、共通系の三つの会社を設立し、NTT西日本の多数の社員がこれらの会社に移行することにより、グループ全体で業務を実施する体制を整えるものであります。これに合わせて、四国地域の支店体制も見直すことにしています。

新年を迎え、私どもはITを活用した新しい社会の具現化に向けて、NTTグループの総力を挙げてお客様の期待と要望に応えるべく取り組んでまいりますので、今後とも諸先輩の皆様方の一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、一昨年十月に開設されました「NTTIOBネットワーク四国」をご活用頂きまして、電子メールやインターネットを皆様の生活の充実に役立て頂き、今後ひとりでも多くのインターネット愛好者の輪を広げて頂くことをお願いする次第です。

最後になりましたが、四国電友会のご発展と会員皆様の益々のご健勝を祈念いたします。新年のご挨拶といたします。



NTTグループの動き

NTT東・西の「構造改革」まとまる
—— 危機脱却に向け抜本改革 ——

NTT及びNTT東・西会社は、市場構造や競争環境の急激な変化により悪化したNTT東西の財務基盤を建て直し、経営の自立化を図るため、グループ一丸となって開びやく以来の抜本的な構造改革を推進することとなった。

改革の内容は、人的コストの削減、設備投資の更なる削減、各種経費の更なる削減の三本柱であるが、人的コストの削減の概要を紹介すると次のとおりである。

① 業務の抜本的なアウトソーシング（新たに設置する会社へ業務移管）と雇用形態の多様化

注1 注文受付、SOHO（注1）販売、設備保守・運営、故障修理等の業務を地域単位（注2）に設置するアウトソーシング会社へ移管する。（時期は平成十四年五月目途）
なお、NTT東・西の本体では、企画・戦略、設備構築・管理、サービス開発、法人営業等を行う。

注1 Smart Office
Home Office

注2 業務移管のための新会社は、NTT西では全体を十六ブロックに再編（四国は四県をまとめて一ブロック）し、各ブロックに営業系・設備系・共通系

会社を設立する。

業務移管に伴いNTT東・西社員の六割程度（約六万人）、既存子会社（NTTIME等の約四万人）を含めると東・西全体で約十万人（うち西は約五万九千人）が新会社へ移行する。

新会社へ移る社員のうち、五十一歳以上の社員は、NTT東・西を退職し、新会社に再雇用される。（五十歳以下の社員が新会社へ移る場合は「在籍出向」となる）

そして、再雇用者（五十一〜六十歳）の賃金水準は、地域別に15〜30%ダウンするが、一定の激減緩和措置を講じる。

② グループ内人員再配置の更なる推進

NTT東・西からグループ会社への人員再配置を、既存計画の四千三百名から六千五百名に拡大する。（うち西は二千七百名から三千八百名に拡大）

③ 希望退職者の増加

希望退職者の数は、既存計画よりも大幅に増えて一万六千四百名（うち西は一万名）となる見込み。

④ その他の労働条件の見直し

成果・業績主義の徹底等のほか、退職手当や福利厚生制度の見直し等も行われる。

以上の人的コスト削減のほか、あと二つの柱である、設備投資の更なる削減と各種経費の更なる削減を実施することにより、NTT

東・西では、平成十四年度の改善効果は二千六百五十億円（うち西は千五百五十億円）となり、黒字が見込める（東は三、四百億円の黒字、西は収支トントン）としている。

NTT西日本の平成十三年度中間決算

—— 前年同期比「減収減益」 ——

NTT西日本の平成十三年度中間決算がまとまった。それによると、営業収益は一兆二千六十九億円（前年比▲八・二%）八十三億円の収益減）、経常損失は七百五十五億円（同▲八十一・三%）三百三十八億円の赤字増中間純損失は五百一十一億円（同▲六十四・四%）二百億円の赤字増）と、前年同期に対して減収減益とっている。

収益減の背景は、景気の悪化が続いていることやIT不況が進行しているうえに、固定電話から移動電話等へのシフトにみられる電気通信市場構造の変化、電話会社選択制度（マイライン）の導入に伴う市内料金の値下げが大きく影響しているようだ。

NTT西日本では、中間決算の状況及び景気の低迷と競争激化が続く厳しい事業環境などを踏まえ、通期（平成十四年三ヶ月）の業績予想を次のように下方修正した。

営業収益は二兆四千八百五十億円（前年比▲五・九%）千五百四十五億円の減）、経常損失は千四百億円（同▲三十二・三%）三百四十二億円の赤字増）、当期損失は千五百八十億円（同千百三十三億円の赤字増）という予想である。

1 3 年度中間決算及び年間業績予想 ()内は対前年同期増減率% 単位:億円

区 分	1 3 年度中間決算			1 3 年度年間業績予想		
	NTT西	NTT東	NTT 連結	NTT西	NTT東	NTT 連結
営業収益	12,069 (▲8.2)	12,808 (▲7.4)	58,064 (5.8)	24,850 (▲5.9)	26,070 (▲6.7)	118,120 (3.5)
経常利益 (損失)	▲755 (▲81.3)	▲166 (▲154.6)	4,034 (▲26.8)	▲1,400 (▲32.3)	10 (▲92.9)	6,650 (▲8.4)
特別損失	116	95	7,624	1,290	880	9,440
当期利益 (損失)	▲511 (▲64.4)	▲156 (▲229.8)	▲2,618 -	▲1,580 (▲254.0)	▲520 (▲359.7)	▲1,310 -

注1 「NTT連結」は、連結決算対象となるNTTグループ130社の合計。

注2 「NTT連結」の特別損失には、NTTコミュニケーションズ・NTTドコモが出資した海外企業の株式評価損を含む。

また、NTT東、NTT西、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモ等々を含めた百三十社の十三年度年間業績予測(NTT連結)も、当期利益が三千三百十億円の赤字という厳しい状況となっている。
(連結決算上、当期利益が赤字となるのは会社発足以来はじめて)

「加入電話・ライト(仮称)」の提供
—— 新規契約時の初期負担軽減 ——

NTT東・西では、加入電話の新規契約時に「施設設置負担金」(七万二千元)の支払いを要しないかわりに、「分割払い」的に月々の基本料に一定額(六百四十円)を加算した新サービス「加入電話・ライト(仮称)」の提供について、昨年十一月認可申請と料金の届出を行った。

総務大臣の認可を受けた後、今年二月からサービス提供したいとしている。

これにより、新たに電話を契約したいお客さまは、①従来どおりの施設設置負担金を支払う「加入電話」にするか、②施設設置負担金の代わりに、現行の基本料に六百四十円を加算した基本料を月々支払う「加入電話・ライト」にするか、を選択できることになる。
NTT東・西では、このサービスが、ADSLの普及拡大、電話の新規需要喚起及び電話新設時の初期負担額の内外価格差是正につながるとしている。

「マイライン」第二段階へ
—— 第一段階は四区分ともNTTが優勢 ——

お客さまが利用する電話会社を選択し登録する「マイライン制度」の無料登録が昨年十月末で締め切りとなった。

全体の登録者に占めるNTTグループ(NTT東・西、NTTコミュニケーションズ)の比率は別表のとおり四区分ともNTTが優勢となっている。

マイライン登録状況 (登録者に占める比率%) 13.10末

区 分	市内	県内市外	県外市外	国際
NTT東・西計	74.0	67.0	-	-
(NTT東)	(71.5)	(65.4)	-	-
(NTT西)	(76.4)	(69.8)	-	-
NTTコミュニケーションズ	0.4	0.5	58.0	54.1
K D D I	12.8	15.5	20.7	24.5
日本テレコム	6.9	9.9	12.9	14.3
そ の 他	5.9	7.1	8.4	7.1
全体の登録率	70.8	71.2	59.8	52.6

【四国電友会から】
四国電友会では「マイラインプラス獲得」を重点施策として、総力を挙げて取り組んで参りました。長期間にわたるご協力に厚くお礼申し上げます。

昨年十一月以降の登録や登録変更は有料(一回線につき八百円)となっていることもあり、十月末の状況が大勢を示すものと思われるが、全体の登録率は七割程度(県外市外・国際は五十%台)で未登録者も多く、業者間の奪回作戦等を含め、各社の顧客獲得競争はエンドレスに続く。

お知らせ

電友会本部行事

▽ 第二十六回理事会

十一月二十一日、銀座ラフィナートで、第二十六回理事会が開催され、芳野本部長が出席しました。

主な議題は、①第十七回常任理事会報告（・NTT幹部との意見交換・組織強化施策へ評議員に対する組織強化施策等に関するアンケートの実施／モデル支部における会員増施策の実施）・IT普及と相談センタの設置）
②電友会ボランティア活動表彰等でした。
なお、当日は、第十一回ボランティア活動表彰式も開催され、村上会長から「電友会ボランティア活動賞」が贈られました。

▽ 第十一回電友会ボランティア活動賞 受賞者表彰式開催

電友会では、長年にわたり地道にボランティア活動に取り組んでいる会員に対し、「電友会ボランティア活動賞」を贈り、顕彰・激励しております。

本年度は、第十一回表彰式が十一月二十一日、銀座ラフィナートで開催され、「活動賞」が個人二十八名、団体八名に、「団体活動長期継続特別賞」が七団体に贈られました。四国からは、西原次郎さんと川田操さんに活動賞が、ボランティアNTT高知OB会には団体活動長期継続特別賞が授与されました。

☆ ボランティアの組織化と 幅広い社会福祉活動

西原 次郎さん (74歳) 北条市

① 昭和58年北条市の民生委員に就任、市内の全民生委員に呼びかけ、64名の個人ボランティア(民生委員)を誕生させた。

② 昭和63年から六年間、北条市社会福祉協議会が運営する「入浴サービス送迎車の運転」に尽力した。

③ 北条市社会福祉協議会へ登録されている「個人ボランティア」の組織化に奔走、平成四年、ボランティアグループ「ほうしこの会」結成に貢献した。

④ 会結成後は、会の牽引役として、保護者のいない児童施設・身体障害者更生施設・特養老人ホーム等を月一回訪問し、対話・介護・車椅子の手入れ・イベントの手伝い等を行っている。

☆ 視覚障害者等に対する朗読奉仕

川田 操さん (64歳) 大内町

① 平成四年NTTを退職と同時に、視覚障害者用録音図書作りのための「音声訳研修」を受講、朗読録音奉仕員としてボランティア活動を始めた。

② 香川県視覚障害者福祉センタ、高松朗読会に所属し、平成四年から高松市で、点字図書館での朗読・録音図書作成、病院・福祉施設等での対面朗読、ハンセン病療養所(大島青松園)での朗読録音図書作成等に尽力している。

③ 平成六年からは、地元大内町でボランティアグループ「やまびこの会」結成に尽力以来、小学生や幼児に絵本の読み聞かせ手作り紙芝居や朗読劇で施設慰問、大内町や社会福祉協議会の広報誌の朗読録音テープの作成等を行っている。

☆ 電友会ボランティア 団体活動長期継続特別賞 *

ボランティアNTT高知OB会

代表者

大平 治男さん (75歳) 高知市

① 「和・楽・遊」をモットーに、観光地・海浜等の清掃、特養ホーム等福祉施設の訪問、古切手収集等小さな親切運動を地道に続けている。

② ボランティア思想啓蒙のため発行している「VOLニュース」も、百四十五号と続いている。

【*団体表彰後十年以上継続活動している団体を再表彰するもの】

▽ 第十五回事務局長会議

十一月二十二日、NTT東日本本社ビルで第十五回事務局長会議が開催され、松本事務局長が出席しました。

主な議題は、①組織強化(会員増強施策) ②評議員に対するアンケート調査結果の反映 ③ボランティア活動表彰の扱い、④電友会推奨団体保険の普及、⑤ITサービスの普及等でした。

第二回四国地方本部理事会開催

十二月十二日、番町ホテル（松山市）で、十三年度第二回理事会を開催し、次の事項について意見交換等を行いました。

- ① 会員増強施策等について
- ア 全国で四支部をモデル支部として選定し、会員増強施策を実施、有効施策を全国水平展開する。
- 〔モデル支部〕

- ・ 東日本 北海道（全域）東北（岩手）
- ・ 西日本 中国（岡山）四国（徳島）

- ② マルチメディア普及施策について
- パソコン教室等の充実拡大／インターネット愛好会員の拡大／ホームページの充実と情報交換／IT相談センタの活用
- ③ 電友会ボランティア活動表彰について
- ④ 電友会推奨団体保険への加入勧奨（傷害保険 自動車保険 がん保険）
- ⑤ NTTの動向等について
- マイラインプラス獲得状況／NTTの構造改革／NTTの中間決算等

電信電話記念日の表彰

平成十三年度の電信電話記念日にあたり、長年にわたって電信電話事業の発展に尽力された次の会員に対し、NTT西日本の関係支店長様から、感謝状が贈呈されました。

- ▽ 愛媛支店長表彰
- 安部 孝様（松山市） 栗林久芳様（松山市）
- 松長嘉重郎様（松前町）

▽ 香川支店長表彰

- 荒井巖様（国分寺町） 稲田 猛様（高松市）
- 久米忠夫様（高松市） 八嶋一夫様（丸亀市）

支部だより

第二回親睦囲碁大会開催

（愛媛）

愛媛電友会では、十月二十七日、関西棋院愛媛会館で第二回親睦囲碁大会を開催、四十名の名人が熱戦を展開しました。競技は、A・B・Cの三クラス別に、各人が四局対戦する予選リーグと決勝トーナメント方式で、各クラスとも実力伯仲の好勝負が続きました。終局後は、勝負手となった手筋を、お互いに解説しあう等旧交を温めた一日でした。クラス別の入賞者は次のとおりです。

クラス	優勝	準優勝	三位
A	山崎 献	丸山 修	松長嘉重郎
B	菅 正義	平井善起	水沼 淳三
C	村上 護	酒井建一	中野 益雄

- A Ⅱ 四段以上
- B Ⅱ 初段～3段
- C Ⅱ 級位者

親睦小旅行で京近江の秋を堪能

（愛媛）

十三年度の親睦小旅行（参加者36名）は、十一月十二日から一泊二日の「琵琶湖畔の

名刹と隠れた京の史跡めぐり」で京近江の秋を堪能しました。前日までの天気予報が嘘のような旅行日和となり、琵琶湖畔では紫式部が源氏物語を書いたという石山寺、天台宗の総本山三井寺に参詣。



これらの古刹は、歴史の深さを窺わせ、庭園の錦楓が桃山時代の建築美に彩りを添え、バスでの長旅を忘れさせてくれました。早めに、雄琴温泉の琵琶湖ランドホテル

に到着。夜は、定番の大(?)宴会で大いに盛り上がり、カラオケでは司会が「この歌をもってお開き」を何度繰り返したのか。

翌十三日は、比叡山越えて京都へ。京都で最も古い神社、上加茂神社・今宮神社、嵯峨野の古刹清涼寺を見学、小堀遠州作の庭園も見事でした。

昼食は、清涼寺でお待ちかねの豆腐料理を賞味。

午後の嵐山パークウェイでは、紅葉が見頃で、バスの中は「綺麗・凄じ」の連発で錦秋に染まる嵐山を満喫しました。

午後九時、全員無事帰松、バスの長旅にもかかわらず元気で家路につきました。

秋の観光バスツアー実施

海峡と歴史のまち下関散策

(高知)

高知電友会では、十一月七、八の両日、恒例の「秋の観光バスツアー」を実施しました。参加者五十九名で、二台の観光バスに分譲し、高知自動車道から瀬戸大橋経由で、山陽自動車道を一路西へ、下関までの旅でした。

両日とも、絶好の秋日和に恵まれ、世話役一同の日頃の行いの良さが証明されました。

そして、瀬戸内海や関門海峡の絶景に接するとともに、歴史のまち下関を散策、事故もなく全員無事に帰高することができ、一同大満足の二日間でした。

帰りのバスでは長旅の疲れもみせず、早くも来年の旅行計画について賑々しく論議が交わされ「皆さんお元気な証拠だ」と世話役一同関心した次第です。



四月一日に迫った「ペイオフ」解禁

万一、金融機関が破綻した場合、預金保護の範囲は概ね次のようになります。

① 預金者一人当たり、定期預金等の元本一千万円までとその利息は、四月以降も保護されます。

② 合算して元本一千万円までとその利息はあくまでも最低保障ですので、受け取れるのは一千万円だけではありません。

③ また、当座預金・普通預金等は、平成十

五年三月まで全額保護されます。

【もっと詳しく知りたい方は、金融機関の窓口等でお尋ね下さい】

(15ページ下段から)

◇ 山本 襄児 (高知市)

第二の就職先ドコモを退職して五年余り経ちました。この間、運動不足解消のため、太極拳、水泳、菜園作りなどをしました。一昨年長女、昨年次女が結婚し三人の子供が独立、やっと子守から開放されホッとします。

昨年五月、古巣のドコモから滞納整理のアルバイトのお声がかかり月十日程出勤しています。悪質加入者と滞納金額の多さに驚いていますが、リストラばやりの昨今、六十九歳の老骨を使ってくれる所があるのに感謝し、全力投球でこの仕事に取り組みたいと考えています。

◇ 米田 昌教 (飯山町)

月並みですが「光陰矢の如し」で退職して十五年、今年七十歳になります。

「さあ、これからは」と張り切っていますが、それも束の間、今では孫娘の相手を楽しんでます。(人は「溺愛」と言う)

カメラ、デジカメ、ビデオと揃え「成長記録」のCDを制作中。しかし彼女も七歳、そろそろ相手にされなくなりつつあります。

たまに公民館の活動記録作りを手伝い乍ら病気もせず、老妻と二人、多忙でもなく退屈もせず、それなりの日々を過ごしています。

健康のページ

二〇〇二年 年頭雑感

NTT西日本松山病院長

井上 賢二



「いよいよ二十一世紀」と騒がれた、かの二〇〇一年は、歴史に残るであろう大変な年でした。出鼻をくじかれた私たちの「現在」の先進国は、いささか

自信を失い、対応策に苦慮しています。十八世紀中期、産業革命に始まった欧米の大量生産至上主義は、効率を追求しつづけ、今や、市場原理、成果主義へと進化し、これこそが世界基準と喧伝されております。

自由競争原理に基づくこの考え方は、多くの支持を得られましたが、全ての人々の価値観とはあいいれず、貧富差に代表される様々な問題が起りつつあります。

人は、ものがなければ生きてはいけません。ものが全てでないことは、自明の理であります。人類発祥の地アフリカ、世界四大文明発祥地で「遠い昔の先進国のアジア、中近東等にもそれぞれ固有の価値観に基づく文化があることを思い起こすべきであります。

生命の原理からいえば、単一的生物は、滅亡することになっていきます。多様性を有し、他と共生したもののだけが、たまたまその時々

の環境下で生息しています。そして、多様性を有するが故に、今後、新たな環境変化が起こっても、一部のものはそれに適応し、次世代の生物として生き残れるようになっていきます。

医療は、本来、主義主張や経済とは、異次元のものといわれてきましたが、混沌の現在理想どおりには参らないことになっていきます。ちなみに今年、史上初の診療報酬「技術料」の引き下げが行われることになっていきます。

高いといわれております本邦の総医療費ですが、GDPに占める割合は七割台で、これは米国の半分にあたり、ヨーロッパ先進国に比べても低い値であります。

問題は、その内訳、即ち、薬と検査料が医療費の大半を占め、技術料は低いという点にあるのですが、目に見えないものには対価を払いたがらない国民性と、医療機関相互の利害がらみで、是正されないのが現状であります。

新年を迎え、松山病院社員一同は、混沌の時期にこそ、諸般の事情を勘案し、あくまで「命ぞ、宝」の原点を踏まえ、小粒の山椒の心意気で、知恵と工夫をこらし、この難局を乗り切って参りたいと決意を新たにしております。

ひとり相撲にならないよう、会員諸先輩方のさらなるご指導をお願いするところであります。

最後に、今年も、皆様方には、心身ともにさらによい年でありますよう、心よりお祈り致しております。

厚生年金保険

平成十四年四月改正のポイント

① 厚生年金保険の被保険者資格の延長
平成十四年四月一日から、厚生年金保険の被保険者の年齢の上限が、65歳未満から70歳未満に引き上げられます。

つまり、厚生年金保険の適用事業所に勤務している65歳以上70歳未満の人も、厚生年金保険の被保険者となり、厚生年金保険の保険料を負担することになります。

② 60歳台後半の在職老齢年金の調整

厚生年金保険の加入期間の延長に伴い、昭和十二年四月二日以降生まれの在職者（厚生年金保険の加入者）は、65歳以上70歳未満の間新たな在職老齢年金制度により、次のとおり老齢厚生年金の支給額が調整されます。

なお、昭和十二年四月一日以前生まれの人については、この在職老齢年金の調整は適用されず、従来どおり年金は全額支給されます。また、老齢厚生年金の繰下げ支給制度は廃止されません。

◎ 標準報酬月額と老齢厚生年金（報酬比例部分）の月額合計額が37万円以下の場合、年金は全額支給されますが、合計額が37万円を超えた場合には、超えた額の2分の1が支給停止されます。なお、老齢基礎年金は全額支給されます。（詳しくは、社会保険事務所へお尋ね下さい）

ドキュメント

人生さまざま・後半生を生きる

市長として貴重な体験

中村市在住の岡本 淳さんは、現在高知電友会の役員（幹事）として、また四国電友会選出の本部評議員として尽力されている。

そして、平成四年から八年まで一期四年間、中村市長を務められたことは、夙に有名である。

岡本さんは、神奈川大学を卒業後、電電公社へ入社、NTT今治支店長を最後に退職され、地方自治体の首長という我々OB仲間では、極めて稀な人生の一頁を印された。そこで、今回は、当時の貴重な体験をお聞かせ頂ければと思ってお尋ねした。

平成三年、岡本さんが今治支店長の頃、出身地中村市の有志から「次期市長選に立候補してくれないか」という話が持ち込まれた。「晴天の霹靂」とはこの事で、もちろん固辞したが、支援の輪は広がる一方で、遂に断りきれなくなり、出馬を決意するに至った。

五十代前半という若さで、安定したNTTの職場を去る決断に至った心境は察するに余りある。

選挙戦では絶対有利と噂されていた現職の対立候補を退け、見事に当選を果たした。時に平成四年、岡本さん五十四歳の春だった。

市長に就任して、最初に痛感したことは、一般的に弱小自治体は、三割自治と言われて

いるが、むしろ一割自治と言っても過言でない実態だった。特に、財政は、国や県に依存する度合いが高く、最も苦労したという。

また、市役所の職員気質も驚きの連続であった。創造的発想に乏しく、過去の事例や慣習に極端にとらわれる姿勢は予想以上であった。財政運営についても、単に予算消化という意識が先行し、経営的感覚は殆どなく、電電公社、NTTを通じて経験してきたそれとは全く異質のものだった。

岡本さんは、市長としてこれら諸々の意識改革の必要性を痛感し、いろいろと試みたが、なかなか壁は厚かった。

さらに、地方小都市の市長の生活は、公私の区別が無いも同然で、日曜・祝祭日はもとより、昼も夜もあらゆる行事に駆り出されてこれには閉口した。その頻度は、NTTの支店長の比ではなく、その面では、四年間で公社・NTTの二十一年間に匹敵するエネルギーを費やしたような気がすると述べられた。

このように、困難で辛かったことも多かったが、充実感や満足感に満たされた思い出も少なくなかった。その代表的なケースが「四万十川百軒マラソン」である。

これは、年々発展を遂げ、現在では、県西南地域の代表的な年中行事となり、全国からの参加者も増える一方である。マスクミも大きく取り上げる程有名になり、大成功だったと自負されている。

だが、岡本さんが市長在任中、この企画がある業者から持ち込まれたとき、かなりの公費（約千七百万）の支出を伴い、また隣村の西土佐村などを説得する必要もあるとあって、

悩みに悩んだ末に実施の決断をした。失敗に終われば、市長の責任を問われたに違いない。

とにかく、その経歴からも、数ある全国の市長で、異色の市長十指の中へ入れられたりもしたが、大した失敗もなく無事に任期四年間を務め上げることが出来た。

ラッキーな面もあったが、大勢の人達の協力があつたればこそである。そして、長年の電電公社・NTTを通じての経験も大いに役立った、顧みて感慨一入のものがあるそうだが、最近最も共感しエールを送りたい人が居る。それは外ならぬ小泉首相であり、その構造改革路線である。

国や地方の行政がこのまま推移する限り、将来の我が国は、大変な事態に立ち至ることは間違いないというのである。

誠に宜なるかなと感心したが、やはり実際に地方行政に、それもトップとして携わった人の実感であろう。

何と云っても、地方行政は多岐にわたり、多様な体験をされた岡本さんであり、エピソードも多いが、何しろ地域住民の生活と直結しており、微妙な問題もあるので、今回はこれで終えることとする。

我々OB仲間にとっては、極めて貴重な体験を積まれた岡本さんに、心から敬意を表して、筆を措くこととする。

（窪田編集委員 記）



私は今

◇ 阿部 重貴 (今治市)

脱サラをして三十年、好きな世界(デザイン)に生きて今も現役で仕事をしています。県美術会(県展)審査員、専門学校講師として、デザイン界の次世代を担う学生達を指導したり、生涯学習活動へも協力して微力ながら絵画、切り絵等を指導するほか、NTT(旧電電公社)時代の先輩、友人を良き友として親交を深めつつ、毎日元気に過ごしています。

NTTの益々の発展と皆様のご健康とご多幸を祈念しております。

◇ 荒井 和子 (高松市)

退職して早くも十年になります。毎日規則正しい生活を心掛け、のんびりとした時間を趣味の刺繍に使っています。月二回のOBサロンでのお稽古は友達との久しぶりのおしゃべりと、思いがけない人達にお逢いできるとても楽しみな一日です。

また、最近パソコンを始めました。思いきって高松市のIT講座を受け、ボケ防止のため、遅ればせながらインターネットも始めたかと思っております。

◇ 井澤 順子 (丸亀市)

退職して早十二年になります。今は、夫の通院のアッシー君をするかたわら、大正琴、銭太鼓を習い地域のイベントや老人福祉施設の慰問などに仲間と参加するの

を楽しみにしています。

また、地域の子供達に“なぎなた”を教えています。一昨年は、少年武道大会(日本武道館)に出場し、小学三・四年の部で演技競枝優勝、試合三位という褒美をいただきました。

加齢を感じる時もありますが、あの輝やく瞳に魅せられ、子供達からエネルギーをもらっています。

◇ 石河 陽二 (松山市)

増えるものは物忘れ、早くなるのは時の経つこと。八十を三つ越え体力の減退を痛感中。明治人間に母親を置き替え、その丈夫さを回想しております。棒振りを諦めかけたときカーボンシャフトで息を吹きかえしましたが、もうこれで終りと思った昨夏、アイアンをレディス用と入れ替えたところ、未だ一時は持ち堪えそうです。

毎日が家内の世話で生きているようなものです。パソコンは目下ポストカード作り用とっております。

末筆乍ら事務局のお世話に感謝します。

◇ 井上 重郷 (松山市)

早いもので退職後十七年、第二の職場での勤務も十五年余になりました。この間大過なく元気に過すことができ、ありがたく感謝しております。

余暇には植木の手入れや日曜大工のまねごととに精を出しております。又、最近息子からもらったパソコンの習得に孫と共にいそしんでおります。

これからの願いは家内共々元気で平均寿命をクリヤーすることです。

それでは皆様もお元気にお過ごし下さい。

◇ 太田 眞也 (高知市)

皆様お元気ですか。平成十二年の入院中(六月から十一月)にラジオで聞いた「どどいつ」が面白くなり、退院後はタイプライターの代わりに息子のワープロを借りて川柳やどどいつを楽しんでいます。

体力が回復すればテニスもまた始めたいのですが、今は高新文化教室の川柳講座(十三年十月から十四年三月まで)で実作の指導を受けております。

古希の手習いマニュアル見つつ

打つは川柳どどいつだ

皆様の益々の御健勝をお祈り致します。

◇ 大西 泰介 (松山市)

職を退く楽しさ淋しさ日向ぼこ

「俳句の世界に生甲斐を見つけれ」と詠ってからもう十九年、長いようで短かい年月あまり上達もしない俳句を作り続けています

若さには多少自信を持っていただけ、最近は十分間も立っていると、右の腰から下肢が痛みます。

町内会の会計、老人会の会計を担当していますが、記憶力の衰えにうんざりでも、まだまだカラオケにも精を出して、寝たきりにならないよう、頑張り続けたいと思っております。

◇ 岡田 義行 (松山市)

NTTから、喜寿の祝金を有難く頂戴して自転車を買いました。

毎号この欄で、多彩な趣味を活かして、生き生きと暮らしておられる皆様の近況を拝見し感服すると同時に、第二の職場を退職して十二年余、平凡に過ごして来た我身を恥じております。

大体健康を維持し、週三日の囲碁の例会に出席して、ヘボ碁を楽しんでおりますが、最近足が弱って、ゴルフは無理になったようです。

◇ 尾崎 義勝 (徳島市)

明けましておめでとうございます。退職五年、走馬灯の如し、深感する今日このごろ。

娘は県外で男五歳児の母、息子は同郷で女二歳児の父、お正月とお盆に皆来宅、近況聴話するを妻共々一番の楽しみ。

小生のライブは花木の水やり、晴日は約一時間、近くの田圃道ウォーキング、花を愛し四季の移り変りを観ながら心身のリーフレッシュ。又、毎月一回OB健歩会会員と同行、徳島JR沿線名所旧跡訪ねる旧交オシャベリウォーキング。

時代は今。「自然と共生」の新時代へ。

◇ 加藤 省三 (松山市)

電電公社を退職して二十三年余。この間、四国四県、電電公社本社等各地で多くの方々にお世話になりましたこと改めてお礼申し上げます。

引き続き第二の職場のNTT関連企業や電

友会の方々にもお世話になり、またその間町内会のお世話をしてまいりましたが、何とか無事卒業いたしました。

現在、月一回の病院通い(高血圧、眼科)を含め妻ともども健康の維持に努めております。

皆様のご健康をお祈りします。

◇ 川井 一雄 (丸亀市)

私は、日曜祭日の休日を除き、毎朝五時三十分起床です。家族の食事の準備等、朝は時間との戦いです。今は家族五人暮しですが、昨年一月に妻が急死、大変淋しくなりました。若い者は勤め、孫は学校です。老人会の役員、老人福祉委員等もしております。家事も総べて引受け、また、夕食の買物・準備等全く私の余暇時間はありません。

病氣している暇もないくらいの毎日ですが、お蔭様で皆様と接し、頭も体も自然に使うので、健康な生活が出来ていることを感謝しています。

◇ 北川 鴻一郎 (高知市)

昭和二十三年に南国土佐を後にして上京、平成五年末に故郷にUターン、余生を高知で暮すことに決め毎日元気で楽しんでます。

公社時代の仕事は建築部で、局舎の建築設備工事の設計・施工監理業務でしたので高知電友会の会合等に出席しても知人が少なく、目下、友達の輪の拡大に努力しています。

日曜日は熟年登山会の仲間と四国の山は勿論、本州まで遠征し楽しみながら健康づくり頑張っております。

皆様方の健康をお祈りします。

◇ 熊野 歳益 (高松市)

昨年十二月、NTTから喜寿のお祝いをお届けいただき、ありがたく頂戴しました。

健康維持のため、自治会老人クラブのゲートボールとランドゴルフを行っています。

早朝約二時間の練習でリフレッシュでき、地域の方々と交流できるので、毎週金・土曜の練習日には、努めて参加するようにしております。

また、早朝練習の仲間と一か月〜二か月おきに、一日旅行の温泉めぐりで親睦をはかるのも楽しみのひとつです。

◇ 誉田 笑子 (日和佐町)

平成四年十二月に民生児童委員を仰せつかった。最初は何も分らず、ただ会に出席するだけ。でも地域を巡回して一人暮らしの多いのに驚きました。

何時の間にか自分が皆さんと同じ年になってきて、年月の早さを感じます。

介護保険制度の導入で一〇〇軒余りを訪問したこと、敬老行事、福祉大会、出張等々結構忙しく感じました。今年で民生委員を卒業させて戴く積もりです。

これからの老後を互に労り、助け合いながら暮らせたいと思います。



◇ 近藤 寛 (観音寺市)

十年一昔といいますが、私 N T T を退職して十一年目に入りました。身体もあんまり健康ではありませんが、局医でした大西先生(九二才)に定期的に検査していただき頑張っています。N T T という文字を新聞、週刊誌等で見つけると、なんだか全部読んでいますが大変な記事ばかりだなあと感じます。

私は今カラオケに夢中になっています。色々な大会にも出場していろんな人達とも知り合い健康にも良いと思いい、毎日演歌を歌っている今日この頃です。

◇ 坂本 満徳 (松山市)

最近、年令を重ねるのが早くなった様な気がする今日この頃です。現在は、老化防止のためにストレスが溜まらない程度に働いております。

趣味も、今は制作から離れていますが、高齢者大学の専門講座で習得した陶芸を通じて同期生の作品展鑑賞等に参加してエンジョイしております。健康のため続けているゴルフも、年令を考えながら頑張るつもりです。

今後も健康第一をモットーに元気に日々が過ごせる事を願っております。

◇ 高科 美恵子 (西条市)

世の中の流れにのらないのも癪だし、受講料が無料と言うのでパソコン基礎講座(五〇時間)に只今挑戦しています。

懇切丁寧に教えて頂いていますが、脳細胞の老化甚しく、砂時計の如く覚えた端からこぼれ落ちていきます。が、ここでへこんではい

けません。パソコン回線を ADSL に変更し用意万端整えました。

実際出来る事はワードで趣味仲間の名簿を作ったり、たまにインターネットでネットサーフィンする位とは分かっているのですが、それでもまあいいですよ。

◇ 高山 清吉 (北条市)

平成四年に退職し、翌年六月にテルウエルに再就職、平成十二年三月に退職しました。現在は、N T T 愛媛支店で看視員の代務として月に数回勤務しています。

家族は、子供二人がそれぞれ結婚し、明石市と広島市に住んでおり、夫婦二人暮らしも五年目になります。夫婦共に健康で、私はウォーキングや好きなソフトボールを楽しみ汗を流しています。

そのほか家事手伝い、時には家庭菜園で時を過ごしています。これからも健康に気をつけ頑張りたいと思っています。

◇ 武田 尚子 (大豊町)

早朝冷たい空気が肌をさす中、妹と二人、一時間山の坂道を歩く。平坦な道より坂道を歩く事によって筋力がアップされると何かの本で知る。

長年悩んでいた便秘がすっかり解消され体も軽くなった。便秘の方におすすです。

職場を離れて十三年、時の流れは早く水泳陶芸・読書に旅行：今はもっぱら読書と旅行を楽しんでいます。又、水泳教室に通ってみようと思っています。

殺伐とした世の中明るいニュースが少ない

昨今、せめて気持ちだけでも明るく前向きに持ちたいと思っています。皆様もお元気で。

◇ 羽藤 キミ子 (三間町)

退職して早くも十六年が経過しました。勤めから解放された私は、主人の勧めもあり、二週間のヨーロッパ旅行を始め、機会ある度に旅行を楽しんでいます。

趣味の謡曲は、週一回、我が家に先生を迎え、七人の仲間と稽古に励んでいます。着付け教室に通ったお蔭で、自分で着た着物姿で発表会にも度々参加しています。

老人クラブの活動や文化財の保存活動にも地域の方々と一緒に参加し楽しんでいきます。義母と主人に感謝している毎日です。

◇ 檜垣 一夫 (松山市)

近況をお尋ね頂き有り難うございます。

公社を退職してはや二十年が過ぎました。将棋の会やボランティアの会に入って活動した時期もありましたが、平成に入ってから入院「腹切り」を二回やりました。もともとあまり丈夫な身体ではなかったのです。この年まで生きられるとは思っていませんでした。

現在、孫という歌がはやっていますが、歌の詩の通り「宝物」の孫の成長を楽しみにして、自力・自立・人様に迷惑をかけない事をモットーに生活しております。

◇ 平林 恒男 (松山市)

「光陰矢のごとし」とは若い頃の生活の戒めと理解して過ごしてきたが、近ごろになって、これは年寄の心境を表しているように思

わかれてならない。一日が早い、一週間が早い、一月が早い、当然一年は瞬く間に過ぎてしまふ。

町内会の四役として公民館の世話をしながら、三十五年前手掛けていたさつきの盆栽を再開し、さし芽までやっています。寒ラン、春ラン、えびね、妻が集めた草花まで、もっぱら私が世話をさせられています。好きなゴルフは月四回程度楽しんでます。

◇ 広瀬 艶子 (徳島市)

明けましておめでとございます。

退職してから早くも九年が過ぎました。一時体調を悪くしたこともありましたが、今は健康の有り難さを感じながら、毎日を楽ししく過ごしております。

四十年あまり続けている短歌や、退職後に始めたガラス工芸や陶芸をはじめ、公民館活動の一環としての「健康づくりの会」にも入り、勉強させていただいております。

また、三十年ぶりにラケットを握り、卓球に汗を流すのも楽しみの一つです。

◇ 細川 安治 (土佐清水市)

退職して二十三年が過ぎ今年傘寿を迎えました。体の調子は良好で医者と言えば歯科医にお世話になっただけで医薬とは無縁の生活をしております。

先祖から受け継いだ僅かな農地ではありませんが、現役で農作業に従事しております。中でも稲作は毎年評判になるような収穫を上げております。

暇をみては舟釣りに出かけます、釣果の方

は今一、それでも大物を釣り上げた時の気持ちは何とも言えません。ストレス解消には一番良い方法だと思えます。釣り好きの方は一報下さい、お待ちしております。

◇ 堀 登美子 (高知市)

NTTを退職後、第二の職場も無事退職しましたが、一年後、元の職場に半日の復帰をしています。

昨年からは電友会でお手伝いをさせて頂くようになり、沢山のOBの方とふれ合う機会ができ、感謝しております。

最近パソコンに興味を持ち、今はOBネットの方、家族、友人達とのメール交換を楽しんでいます。趣味のボーリング、小旅行も楽しみながら今日一日を頑張っております。

電友会の皆様もお元気で過ごして下さい。

◇ 堀内 利秋 (松山市)

大東亞戦争の最中、私召集を受け「ラバウル」で終戦になり、祖国の土を踏んだ時の感激は今なお片時も忘れることは出来ません。

毎年四十万円余りの健康保険料もかけ放しで、これでは元も取れんと思いつつもお医者さんとは御無沙汰で、有難いと思っております。

老人会その他のお世話も今は若い方におまわしして、毎日雑用に追われ乍らも、お天気の良い日は庭の草むしりや、雑木の剪定などを楽しんでいる今日この頃です。

◇ 松田 博明 (高松市)

NTTを退職後早くも八年が経過し、第二

の職場も昨年三月に終わりました。ここまで多くの方々に助けられ、また、お世話頂き感謝しております。

少しの畝に野菜作りとは名ばかりで、今まで経験したことが無く失敗してはベテランに聞いております。昨夏の猛暑で体調を崩し病院へ検査に行ったこともありました。

会報には皆様健康管理に最大の注意を払われているのがよく判ります。今後は無理せず、ゆったりをモットーに楽しく過ごしたいと思っております。

◇ 松本 喜代一 (松山市)

公社を退職して十八年になりました。

昨年は電友会から喜寿のお祝いをいただき有り難うございました。

現在、高血圧と肝炎で通院治療中です。一日も早く元氣を取り戻したいと頑張っています。

◇ 三好 勘四郎 (松山市)

元氣です。家庭菜園で野菜作りや、趣味の盆栽・錦松・五月の手入れの毎日です。

◇ 三好 秀一郎 (松山市)

再就職先を退職後、情報通信関連団体の事務所でボケ防止に努め、五年目になります。

全国組織なので、メール送受等、否応なくインターネットの世界に組み込まれ、マニュアルを見ながらパソコンと格闘する一方、マイン獲得、携帯電話代理店業務、定時総会等でNTTグループと関わっています。

家庭では、老母の介護に追われていますが

事務所まで往復十五キロの自転車走行と「百十の王」に近づかないための週末のゴルフ練習の汗が健康維持とストレス開放とと思っています。

◇ 森添 弘之 (鳴門市)

N T Tを退職してはや六年余り、今なお第二の職場(四国通建)にお世話になっております。

血圧が多少高いほかは一応元気で、まじめに勤めております。時には赤い灯に釣られ、街を徘徊することもありますが、現役の頃に比べずい分減りました。年でしょうか。

第二の職場も後わずか。退職後は、何を始めようかとあれこれ考えているこの頃です。子供達も独立し、孫が三人、昨年二月に生まれた内孫の成長に一喜一憂している毎日です。

皆様のご健康をお祈りいたします。

◇ 葉師寺 八重子 (松山市)

N T T松山病院を退職して早くも九年目になります。

私の健康法は週二回のダンスです。社交ダンス愛好会に入会させてもらって八年目になります。会長の五藤哲雄先生のご指導のもと楽しんでいきます。

良い事は人生の「割」。足りるを知る「を」モットーにストレスを抱え込まないよう、無理をしないように心掛けています。今は静かな暮らしを楽しんでいます。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

◇ 山下 重比古 (松山市)

藤沢周平の時代小説で感情の起伏を涵養し、上達のない写経で無私の境に近づこうとし、ふとカメラを持ち出し、近郊の風景や花を切り取りに行ったり、忘れずにやることは十五分のダンベル体操で、筋肉を養うこと。時折、市の成人講座を先輩と聞きに行っているような、平凡な中にも少しの変化を求め、現在の健康に感謝している毎日です。

◇ 柳原 幸 (南国市)

近況をお尋ねいただきありがとうございます。毎日テレビを見たり、編みものをしたり、ナンクロ・パズルに挑戦して頭の体操をしています。全問正解で月刊紙に名前が印刷されますと、ひとりで悦にしております。

毎月一回、百八煩惱消滅の旅、お大師様の道巡拝に参加しています。戦争で大切な命を失くしていった、私達の青春時代のような暗い世の中が再び巡ってこないよう、平和な日々でありますよう祈り続けたい毎日です。

◇ 山田 透 (松山市)

平成十一年九月、血痰で発見した肺ガンの手術、主治医に五年生きる確率は五十三%だと言われました。

でも二年経った今、波止で釣りをしたり孫達と遊ぶなど快適に過ごしています。孫達の顔を見ていると、まだまだ十年も十五年も生きなくては、と逆に張り切っています。

皆さん、少しでもおかしいなと思ったら、早めに精密検査を受けられるようお勧めします。

◇ 山田 蕃 (国分寺町)

平成五年にN T Tを退職、テルウェルでお世話になり昨年三月に退職しました。七月からは半日勤務の厚生業務のお手伝いでN T T関連会社に勤めております。

N T T退職と同時にO Bサークルの歩く会園芸・ゴルフ・ボランテニアに参加しO Bの皆さんとの出会いを楽しんでいます。

また自宅近くで百五十坪程の休耕田を借出し野菜作り、花作りに精を出しています。十一年七月に富士登山をし、そのトレーニングに始めた毎朝一時間三十分のジョギングを今も続けております。

皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

◇ 山平 義和 (高松市)

今迄五十年近く、仕事、仕事で、東京・大阪の生活でしたが、三年前、妻の故郷高松市座に住みついていました。毎朝一時間の歩きで汗を流し、午後は老人会の囲碁を楽しんでいます。

今年から長寿大学(二年間)へ入学、週に何回か、高松市内まで自転車で片道四十分位かけて、文芸・歴史・美術等の講座を受講しに行きます。

暇な時は、昔の記録を整理して楽しんでいきます。結構日程が忙しく、健康あつての賜物と頑張っています。なお、長男、次男は、東京と福島で各家族と元気に暮らしています。(8ページ下段へ続く)



テルウェルだより

テルウェルからのお願い

平成十三年十二月

ご加入者様各位

（財）電気通信共済会

会長 木塚 修一

終身共済、進学・結婚共済

ご加入者の皆様へのお願い

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊会事業につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、終身共済、進学・結婚共済制度につきまして、本年七月にお届けした「終身共済、進学・結婚共済からのお知らせ」でご案内申しあげました今後のお取り扱いにつきまして検討を重ねてまいりましたが、以下のとおり制度を廃止し清算させていただきます。以下の結論に達しました。

なにとぞ事情ご理解の上、ご協力賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

終身共済、進学・結婚共済につきましては、日本全体が高度経済成長期にあり、また当時の電電公社も急速な拡大を続けていた昭和四十五年、相互扶助部加入会社の役員の方々のいざという時の備えや将来のための蓄え

の手段として導入いたしました。

しかしながら、制度導入時の経済情勢を背景に高い利回りでの資産運用を前提としていたため、近年逆ザヤの状況が続いております。このため平成十一年には資産運用利回りの見通しを引き下げた制度改正を行い、以降の新規のご加入にはこの新制度を適用してまいりましたが、昨今の超低金利と株価の下落で運用利回りは急落し、逆ザヤはさらに拡大しつつ、当分回復の見通しを立てられないデフレ傾向が続いております。

このまま九十五%以上の加入者の皆様が対象となっている高率運用を前提とした旧制度を維持しつづければ、早晚、資産はゼロとなり、加入者の皆様に給付が行えなくなることが明らかとなりました。

テルウェルとしては、引続き現行制度の改正についても検討を続けてまいりましたが、現在の終身共済、進学・結婚共済の資産状況と今後の厳しい資産運用環境を前提といたしますと、制度改正を行ったとしても、現在の資産で生命保険会社の商品や銀行等の預貯金に移行していただいたほうがより有利となる制度しか作り得ないことが明らかとなりました。

このため、制度改正を行い、加入者の皆様に給付引下げのお願いをするより、現有資産を皆様に分配することで清算し、制度廃止をお願いすることが結果として加入者の皆様の利益になると判断し、平成十四年三月三十一日をもって制度を清算させていただきますことといたしました。

今回清算をお願いするにあたり、テルウェルとしては、他の会員の皆様との公平性に配慮しつつ、これまでの事業活動で作り上げた資産を取り崩し、加入者の皆様に最大限の分配となるよう努めることとしております。

これにより、ご加入者の皆様には、掛金総額及び現行規約に定める解約還付金を上回りがつ、これまでのご加入期間に対応した特別清算金をお支払いする予定です。

皆様個々の具体的清算金額につきましては現在鋭意計算しておるところでございますが遅くとも十四年二月にはあらためてご加入の状況と、特別清算金額等をご案内申しあげ、四月以降、ご指定の口座等にお支払いしたいと考えております。

ご加入者の皆様には永きにわたり両制度をご利用賜っていただきながら、このようなお願いをせざるを得なくなりましたことにつきましては誠に遺憾に存じております。

ご加入者の皆様にはなにとぞ事情ご理解いただき、ご協力賜りますよう改めてお願い申し上げます。

敬具

このお願いに対するお問合せは
テルウェル お客様総合センター
フリーダイヤル
〇一二〇一一三七―二九五



「愛松園ふれあい運動会」を開催

介護センタ「愛松園」では、十月二十六日「愛松園ふれあい運動会」を開催しました。この運動会は、毎年、愛松園が秋の運動会シーズンに、デイサービス（通所介護）利用のお年寄りの運動機能向上と地元東雲校区の方々と交流を図るため実施しているもので、



デイサービス利用者、東雲保育園の園児、ボランティアの方々を含め、七十三名の大運動会となり、交流を深めることができました。

「NTTグループ生活支援・介護ボランティア愛媛」（会長 村尾守康さん）の皆さんには、運動会前日の設営準備から、車椅子の介助、競技への参加等大車輪の活躍をいただき、ありがとうございます。

玉入れ競争では、東雲保育園の四、五歳児と一緒に競技しましたが、自分のチームのため、一生懸命になっているお年寄りの姿がとても印象的でした。

また、参加園児全員による海賊体操が始まると、園児の可愛いしぐさに目を細めながら、車椅子でリズムを取り、体を動かされる等、和気あいあいの「ふれあい運動会」となりました。

ボランティアの皆様のご協力により、競技はトントンと進み、十七種目のプログラムは午後三時無事終了しました。

不自由な体を一生懸命に動かし、勝てば手をたたき合い、車椅子から手を差し伸べ、手をつなぎ、チームに貢献できたことを喜び合うお年寄りの姿を見たとき、運動会の成功に安堵するとともに、介護の中で、「自己実現のニーズ」に、今後どう応えていくか考えさせられた一日でもありました。

サークル紹介

趣味を持つ楽しさ「吟詠サークルたまも」

山本 政典（坂出市）

私たち趣味を同じくする十名の仲間は、平成十二年四月、OBさろん「たまも」で、吟詠サークル「たまも」を結成、流派を超え楽

しく稽古をしております。

その趣旨は、吟詠を通して心（漢詩の名句や感慨の句に触れ、情操を養い心豊かになる）と体（発声は腹式呼吸を主とした全身運動であり、声を出すことでストレス発散の効果もある）の活性剤にするとともに、人と人とのつながりの輪が広がるメリットもあるからです。

サークルの世話人は、元線路屋の奈良正雄さん（臥風流師範・正風）と元機械屋の私（哲泉流師範・陶泉）に、尺八伴奏をお願いしている元機械屋の都山流 松本芳徳さんで、毎月二回OBサロン「たまも」で稽古しています。

稽古では、吟剣詩舞道財団の年度指定二十吟題から、自分の好きな吟題を選び、発声・詩情・音程・アクセントをお互いに研究し、基礎をしっかりと身に付けるよう心掛けております。

理屈どおりにはいきませんが、尺八の音色と吟声がうまくマッチすると、何とも言えぬ気持ちになります。

日常生活の中の「生きがい」は、居がい（居ながら楽しみを持つこと）と、行きがい（目標をクリアした時の達成感）だそうです。

即ち、一つの趣味を持つことの楽しみと、上手くなるため、それにチャレンジする楽しみもあるということです。

会員の皆様、趣味と健康のため、吟詠サークルと一緒に楽しみませんか。入会をお待ちしております。

M・Mコーナー

パソコンゲームはボケ防止の妙薬???

問 良照(松山市)

今の世の中、マルチメディアだの情報技術の色々騒がしいが、現役時代にパソコンとの付き合いが薄かった私にとっては、老人力がついてきたこともあって、あまり関心がなかったことは大変残念である。

平成十年、六十三歳の誕生日に第二就職先の日本電通工業を退職した際に、大勢の方々からお餞別を頂いたので、折角のご厚意をこれからの生活に生かそうと考えてパソコンを購入した。

その後、メールの交換、ホームページへのアクセス程度はなんとか出来るようになったが、そのレベルから進歩しないままストップしている。

現在、私がパソコンの前に座っている時間の約九十%以上はパソコンゲームに費やしている。

パソコンを購入した当初は、囲碁が主体で飽きると、将棋、麻雀を齧ってみたりしていたが、最近では、もっぱら、フリーセルとハーツと言うカードゲームに熱中している。

☆ フリーセルは、一人でプレイするゲームの一つである。同じ配牌のカードで、再プレイは出来るが、初回のプレイのみの勝ち負けを成績としてカウントされる。

二回目、三回目に成功しても、一回目に不

成功なら負けは負けである。

数回トライしても成功しないゲーム番号がもう数十件溜まっている。いつか暇に任せて片っ端から解き明かしてみたいと考えている。

フリーセルのやり方を理解できてから、九月末までは、ゲーム回数の多少に関係なく、成功率は約五十五%であったが、十月始めから十一月中旬までに、10%改善されて六十六%をキープした。

これは、十月始めに十八連勝したことと、少しは脳味噌が動員され、プレイのやり方に工夫が加味されてきて、上手くなったせいではないかと考えている。

☆ ハーツは、四人でプレイするゲームを、パソコンに組み込み、パソコンがやってくれる三人のプレイヤーを相手に戦うゲームである。プレイのやり方も成績を左右するが、むしろ配牌(カードのスーツ別分布)の影響のほうが大きいように思う。

私には、小学四年生の孫が二人いる。

一年程前から、パソコンでハーツのゲーム内容を理解させて、興味を持たせた。今では帰省する度に、パパ、ママを引っ張り込んで実際にカードを配り、四人でプレイしている。とにかく、面白くてなかなか止められない。生身の人間を相手にプレイするのが一番だが、パソコン相手でも結構面白く、脳味噌の運動にもってこいのゲームだ。

皆さん 一度試してみてください。

今日も又 パソコンゲームで ぼけ防止

投稿

ある一日

西澤 玲子(松山市)

ゾウの鼻のような送話器を首からさげて「何番へ」とやっていた頃の同僚が四十五年振り以来松しました。

いつも電話で話しているので、歳月のへだたりは感じられず、お互いの髪の毛の白さや顔のシワをさんざん口にし合ってから、青春の足跡をたどり歩き始めました。

まず行ったのは二番町、わが電話局の前でした。建ち並ぶビルには、昔をしのぶよすがもありませんが、二人の頭の中にはくつきりと木造二階の建物がありました。

ここに門があつて、玄関左に守衛室があつて、おじさんが座っていて、右側の階段を上つてと： 若い軽快な足音が聞こえてくるようでした。

道路のこの辺りに、夜鳴きうどんが止まって、宿直の夜の空腹を満たしてくれたうどんの匂いが流れてくるようで： 懐かしい思いはつきず、立ちつくす一時でした。

次に、あのお店はまだあるかしらと、おそるおそる細い路地を眺めたら、あ、ありました。ことり。今も同じ鍋の食器でうどんができました。

こうして青春をひもどく一日はあつとすぎ友は再び大空に舞いあがりました。

もう逢うこともないのを互いに知りながら胸に秘めてさりげなく 元気でね：

(19ページ下段へ続く)

俳句

友佳里俳句会 (愛媛)

住み馴れて蚯蚓鳴く庭とはなれり 岡内 傳
 冬うらら媪は淡くルージュひく 後藤 博
 鳥渡るひとり歩きの禪問答 坂口 好繁
 慣らされて慣れてつれあい胡瓜揉み 高橋 哲雄
 乾坤のどこかが欠けて星流る 高本 隆之
 冬麗の窯より出でし磁器の紺 垂水 秀夫
 爽やかや小江戸川越時の鐘 仲谷 昭
 短日や伝言板になぶり書き 二神 三郎

敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

氏名	逝去年月日	葬儀	葬地
岩田 春男様	13・9・25	84	志度町
徳廣 圓様	13・9・30	71	高知市
大川 貞子様	13・10・10	65	高知市
石井 茂様	13・10・10	84	松山市
酒井アヤ子様	13・10・14	76	八幡浜市
吉井 啓郎様	13・10・14	82	松山市

表紙の言葉

羽衣 高本 隆之(松山市)

能・羽衣、演者は人間国宝 友枝昭世師である。師の舞姿に渗む幽玄の美しさを何とか表現したくシャッターを切り続けたが、気負うばかりで十分な結果を出せなかったことを申し訳なく思っている。



小倉喜代子様	13	13	13	63	松山市
柴坂 優様	13	13	13	89	丸亀市
永井 初様	13	11	29	78	土佐市
瀬尾 実様	13	11	23	77	川島町
木村 繁夫様	13	11	21	83	高知市
野本登美江様	13	11	16	94	多度津町
田村 梅男様	13	11	12	75	松山市
宮川多喜恵様	13	11	12	70	高知市
橋詰 豊様	13	11	10	63	上板町
眞鍋 繁清様	13	11	10	76	高松市
大串 寿様	13	11	7	74	高知市
村岡 広子様	13	11	6	71	西条市
田村 通吉様	13	10	4	85	松山市
山地 秀雄様	13	10	28	86	松山市
小松 秀雄様	13	10	28	72	大川町
多賀 和枝様	13	10	26	81	高松市
矢野 義忠様	13	10	21	81	松山市
高木 峰一様	13	10	20	81	松山市
大西 武様	13	10	15	85	高松市
	13	10	14	80	徳島市

編集後記

あの頃の忘れられないお顔 野本登美江様のご逝去を知りました。ご冥福をお祈りします。

▽明けましておめでとございます。新しい年が皆様にとって、よりよい年になりますようお祈り申し上げます。
 ▽市場構造や競争環境の急激な変化により悪化した、NTT東・西の財務基盤を建て直すため、NTTグループは一丸となって「抜本的構造改革」に取り組まれています。
 現役のご労苦に敬意を表するとともに、OBとしても、できる限りの協力をしたいものです。
 ▽長寿社会が進むなか、健康で心豊かな生活を送るため、会員相互の連携・親交策や年金福祉関連情報の提供等にも力を入れたいと思います。
 ▽本年もよろしくお願ひ申しあげます。(松本)

四国電友会会報 第一一七号
 発行 平成十四年一月一日
 編集 電友会四国地方本部
 松山市一番町四一三
 NTT西日本愛媛支店内
 電話 〇八九一九三六一二〇二三
 メール denyukai@tru.st.ocn.ne.jp
 印刷 NTT四国電話帳株式会社

四国電友会会員の皆様へ

お知らせですか？

お得な
自動車保険の
お知らせです



【きららの自動車保険なら多くのメリットがあります。】

- NTTグループ在職10年以上退職者の方なら全てこの割引が適用になります。
- 保険料のお支払いは口座引落しですので、お振込の手間がございません。
- ご家族名義のお車にも団体扱い27.5%割引です。
- 無事故割引は他の保険会社(農協・外資系を含む)の契約から引継げます。
- ご転勤やご転居しても心配ありません。きららの拠点は全国にあります。

団体扱割引

27.5%

(毎年11月1日に保険金お支払状況等により見直します。)

きらら保険サービスの自動車保険 お見積り無料受付中！

例えば
こんなご契約の場合

(一般契約)

年間保険料

81,190円

ご契約内容

- マークII
- 平成12年1月
- I7バック・ABS無し

補償は
充実！
保険料は
お安く！

きらら保険サービスで
加入すると

人身傷害補償好評発売中
人身傷害補償
5千万円の場合

NTT団体扱割引
27.5%適用
(口座引落とし)
58,290円

人身傷害補償をおつけになると
安心！

ご自身のケガの損害を

事故の状況
過失割合に
関係なく

100%補償！！

但し、ご契約内容の範囲内
での補償となります

さらに、
一時払い
ですと

お得！
保険料が

約5%割引！！

年間

22,900円お得！

人身傷害補償付自動車保険は
現在、NTTグループ団体扱自動車保険の
ご加入者のうち、60%以上の方にご加入
いただいております

- TAPベスト契約
- 料率クラスB-4
- 等級15等級
- 年齢30才以上補償

- 対人無制限
- 対物:1000万
- 搭傷:1000万
- 車両:100万

- 車両免責:5~10万
(免責0特約有)
- 車両特約:一般条件

平成13年7月より「テルウェル保険事業」と「互恵サービス株式会社」が合併し、
総合保険代理店「きらら保険サービス株式会社」に生まれ変わりました。

【NTTグループ職域代理店】

きらら保険サービス株式会社 四国支店

〒790-0874 松山市南持田町40-3

089-998-3977

引受幹事保険会社:東京海上火災保険株式会社

【共同引受保険会社】安田火災海上株式会社・日産火災海上株式会社・三井住友海上火災株式会社
日動火災海上株式会社・日新火災海上株式会社